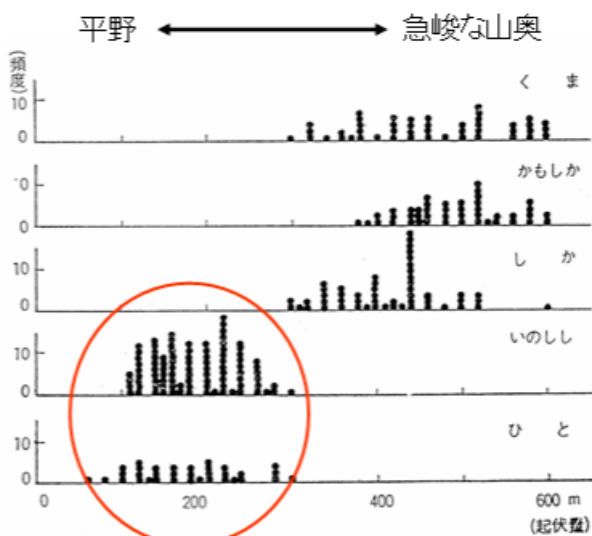


地域ぐるみのイノシシ対策（大規模防護柵整備等）研修会

中央農業総合研究センター 仲谷淳

<イノシシとはどんな生き物か>

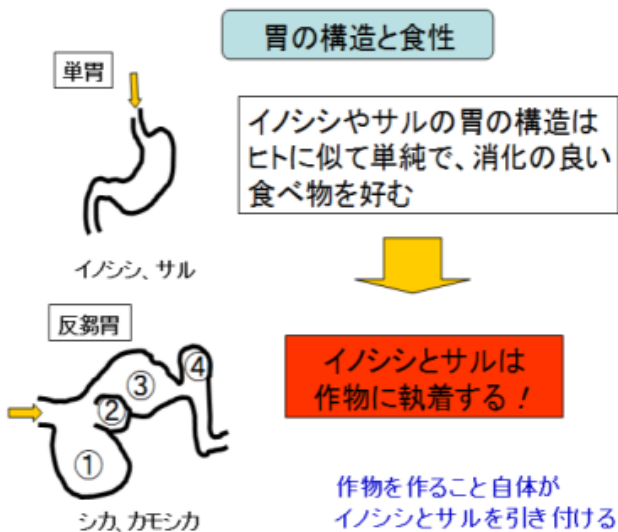
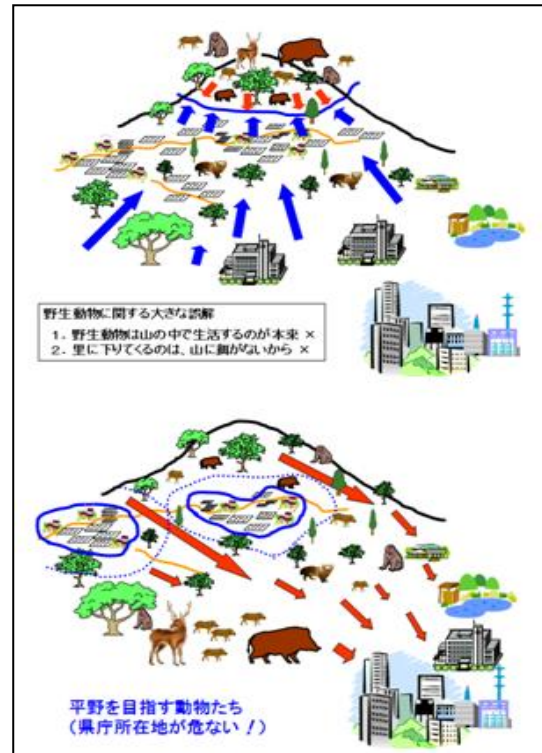
- 平地に戻るイノシシ
- 作物栽培が動物を引き寄せる
- 生き物は柔軟性をもつ



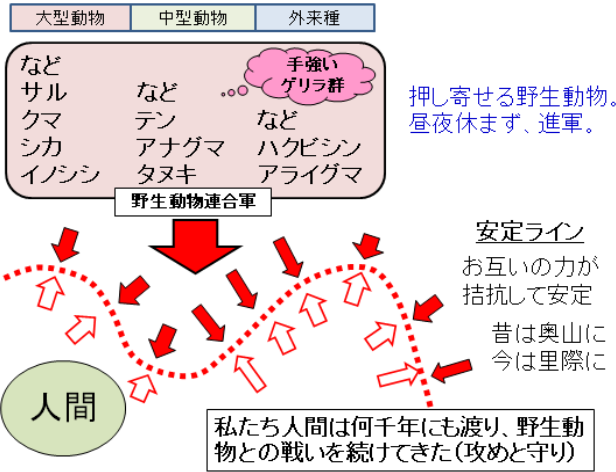
第15図 野生大形哺乳類の起伏量によるすみわけ

イノシシは平地の生き物>>人と共通する生息地

千葉徳爾



中国新聞（山本誉）



- 考えることはたくさんあるが、鳥獣害対策は簡単？  
やるべきことは限られているし、やれることも限られてくる。  
少し考えれば分かることが意外と多い。
- 鳥獣害対策チームをサッカーチームにたとえると、何が重要か？ 囲碁や将棋のゲームではどうか。今の一手とその次の一手。

### どんな柵を選ぶか

- 単独型か複合型か？
- なぜ色々なタイプの柵があるのか？

【柵の設計例】

「柵」タイプ

「柵」タイプ

鳥獣害「シシ垣君」  
<http://www.pref.tottori.jp/dd.aspx?menuid=69873>

大阪府「有畜動物侵入防護柵の設置・管理マニュアル」

いろいろな電気柵の張り方



### 効率よい柵の設置

- 効率よい設置：シシ道、集団化
- 恒久柵と一時柵を効果的に活用

1

2

農地

縦横が2倍になると費用対効果に変化

- 柵の距離は何倍か ? 倍
- (設置費用は何倍か) ? 倍
- 守れる面積は何倍か ? 倍

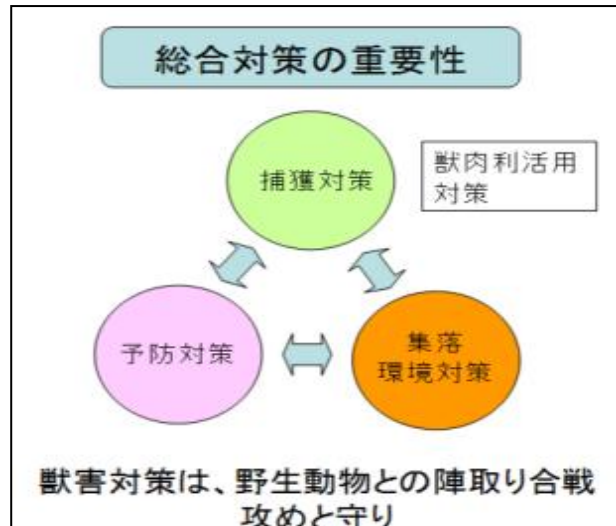
規模拡大は損か得か？

動物の移動ルートを考える

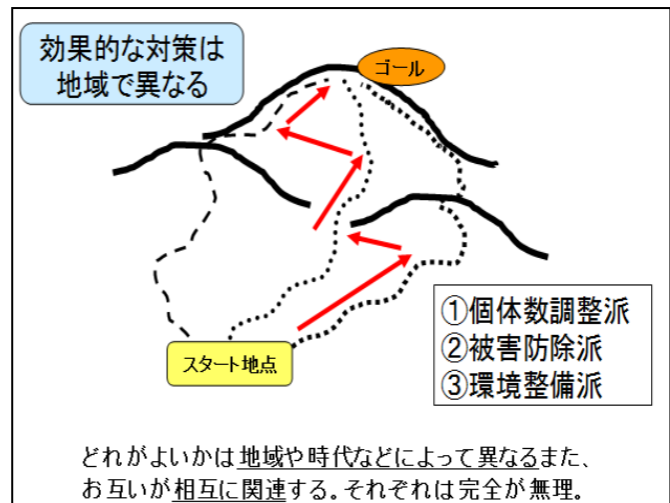
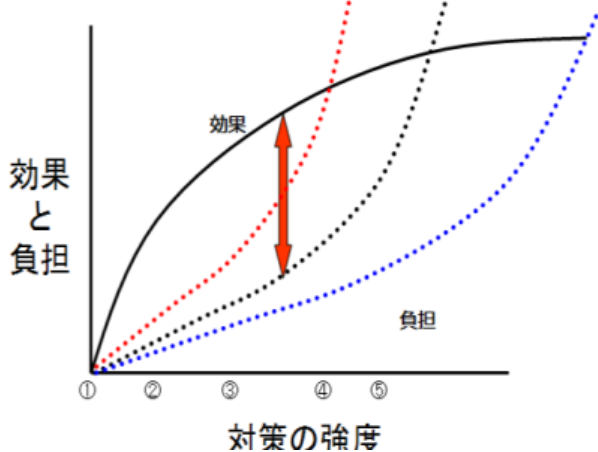
ここにも落とし罠が。

< 獣害対策のポイント >

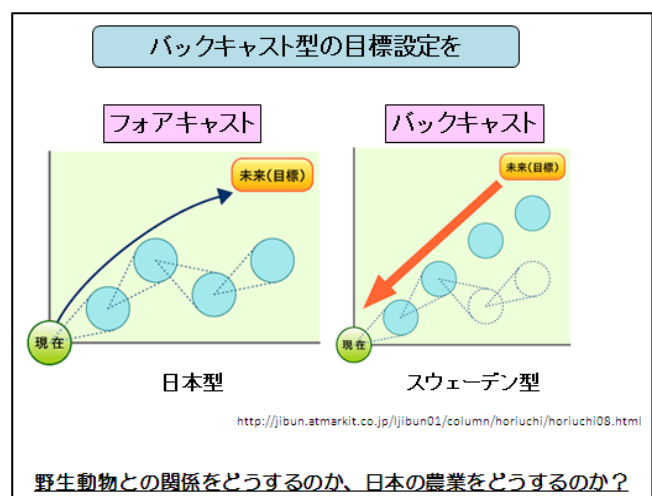
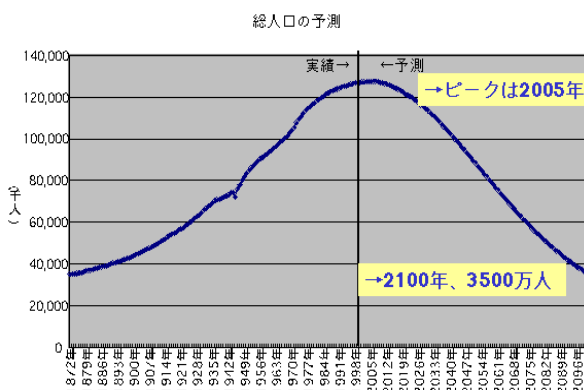
- ・ 対策は相互に結びつく
  - ・ 欠くことのできない役割分担と評価
  - ・ 対策はどこまでやればよいか?
  - ・ 効果的な対策は地域で異なる
  - ・ 人口問題
  - ・ 地域の幸せを考えた鳥獣害対策へ
  - ・ バックキャスト
- ・ イノシシ等の獣肉の利活用は、今のところ、成功例はない? 有望であれば、日本ハムが黙って見ていない?



どんな対策も、最適な努力量は、地域で異なる



総人口の予測結果



とりあえずうまく行ったときの対策 (兜の緒を締める) : 5年後は? さらに10年後はどうなっているだろう? 今は良くても、この対策がいつまでもつだろうか? 西日本 (佐賀県や島根県など) はどうなっているだろうか?

ちなみに、失敗の原因は3つに分かれる。